

こんにちは!

千年苑です



千年苑介護支援センター
☎ 019-658-1190
盛岡市上太田穴口 53 番地

千年苑介護支援センターです!

太田・繋地区を担当しており、地域の活動などにおじゃまさせていただいております。介護の相談はもちろん、生活の困りごと等お気軽にご相談ください。介護予防講座も開催しておりますので、福祉や介護予防について、あんなこと、こんなこと、聞いてみたいことがあったらお気軽にお声がけください。

介護者の集い

介護者の集いも開催しております。写真の回は、千年苑職員による介護のコツについて実技を通してお伝えしたり、フォレスト福祉用具サービス盛岡様の協力のもと、福祉用具をたくさん展示していただきました。お店に靴を買いに行くことが難しい方のために、専用ボックスにたくさん収納して自宅まで持ってきてくれる支援もしてくれるそうです。ボックスを開け靴がたくさん入っているのが見えた時の皆さんの歓声ときたら・・・☆彡

介護者の方からの相談や、こんな話も聞いてみたいなどもお待ちしております。また、気分転換にこんなこともやってみたい、などありましたら、お気軽にお声がけください☆



スローショッピング にぎやかに...



「今日は何を買いましょうか」「久しぶりにスーパーに来ました」
「いっぱいあって迷う・・・」「煎餅はどっちがいいですかね」

マイヤ仙北店でスローショッピングが始まって約2年。最近は介護事業所のご利用者様も足を運んでくださり、毎週木曜日の13時～15時のイトインコーナーは賑やかです。

編集後記

今回の「わわわだより」いかがでしたでしょうか？
皆様のお役に立てること、これからもどんどん探していきます!(クマ🐻)

自分のペースでゆっくりと商品選びから会計まで行えるよう、パートナーが寄り添う「スローショッピング」とともに、ゆっくりほっこり休んでいただきながら交流を楽しむ「わくわくサロン」は絶賛開催中！皆様どうぞ気軽にお立ち寄りください。

ご案内

活動をささえてくださる
パートナーさんも
募集中です!

わわわだより

令和6年
7月吉日
第11号

発行:医療法人 謙和会 荻野病院
イーハートブ地域包括支援センター
盛岡市本宮一丁目 6-48
019-636-3720

こんにちは!
イーハートブ地域包括支援センターです。

令和6年度は盛南圏域の地域特性を活かし、点ではなく線としてのつながりを構築できるよう3つの視点で取り組みます。

1 出前講座を行います

皆様の地域へ出向く機会を増やしていきます。

2 当事者参加を支えます

スローショッピングなど、認知症になっても暮らしやすい地域づくりに取り組みます。

3 支援者支援を行います

介護支援専門員の抱えるニーズに応じた支援活動(事例検討・研修会・交流会など)を実施します。



令和6年度は7名の職員体制で、盛南地区の皆さんの生活をサポートしていきます!



出前講座、チラシができました!

第10号でもお伝えした出前講座、申込書付きのチラシができました!各地区の活動センターや老人福祉センターへお配りしております。

出前講座
開催しました!



※チラシ・申込書は包括支援センターのブログからダウンロードできます。ご利用ください。
<https://www.oginohospital.jp/shien-blog/>

地域包括支援センターでは地域の集まりへ出向き、福祉や介護予防の講座を行っています。

6/14(金)は本宮一丁目ニコニコ会さまへ伺い「これからの暮らし・生き方・もしものこと」をテーマに出前講座を開催しました。

参加者の皆さんからご質問も多く、にぎやかな会になりました。

地域ケア会議

情報共有 意見交換会を行いました

地域ケア会議は、多職種で構成される地域包括ケアシステムの実現に向けた会議です。



5/15(水)、盛南地区を中心とした居宅介護支援事業所を対象に、地域ケア会議を開催しセンターの体制・業務説明ならびに意見交換を行いました。多様化・複雑化し続ける社会環境の中、利用者ご本人やご家族と向き合う介護支援専門員の皆さんの声を直接お聞きしました。今後も連携を深め、よりよい地域づくりのために協働して邁進していきます。

盛南地区の人口動態

Features	人口(人)	65歳以上(人)	高齢化率
仙北	13,867	3,639	26.2%
本宮	19,553	3,500	17.9%
太田	8,613	2,519	29.3%
つなぎ	725	352	48.6%
盛南圏域	42,758	10,010	23.4%
盛岡市	278,410	81,700	29.4%

(令和6年3月末現在/高齢化率は小数点第二位以下四捨五入)

生活支援コーディネーター = SC の活動紹介!

SC は、高齢者の方の生活の困りごとを解決し、自分らしく暮らしていくための支援に取り組んでいます。

これが目的!

SC は高齢者の生活を支援(解決)するために地域のあらゆるモノ(資源)をコーディネートします!

◎ 活動と場所のコーディネート!

地域の方が歩いて行ける、体を動かせる場所を探して...



ここあたり、あたってみます!



地域のサロンをご紹介します!

こういう時のために地域を知りたい!



◎ 思いと場所とをマッチング!

何か人の役に立てることはないかしら?



草取りボランティアを募集する所がありますよ!

ボランティア先でいろいろ人と話ができ楽しい!



ボランティア先をご紹介します!

地域のいろいろな資源や、集まりの情報を募集しています! たくさんの方が繋がれる盛南地区になるように、奮闘中です! ぜひ、お声掛けください!

生活支援コーディネーターは「認知症地域支援推進員」を兼務しています!

認知症は特別な病気ではなく、誰にでも起こりうる脳の病気です。認知症になっても本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域づくりのためには、地域全体が認知症に対する関心を高め、正しく理解し、支えあうことが大切です。認知症になっても、周囲の人々の理解と気遣いがあれば、穏やかに暮らしていくことは可能です。

人と人、人と居場所、人と心がつながり、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、みなさんの声を聞きに地域に伺います!



倉橋 達也さん (管理者)



広瀬 弘美さん

1 通所施設として

デイサービス愛真館 夢ぶらざ



デイサービスが3階にあるため、利用者様には普段通りご利用いただき、雨が小降りになるのを待ちました。しかし午後になっても雨が続き、鉄砲水や停電が発生したため、状況をご家族に報告の上、水が引くのを待ち通常より遅い時間にご自宅に送り届けました。

当日の気候の変化については想定不足であり、それが指示→対応の遅れとなって利用者様を早めに送り届けることができなかったと思います。

これらを踏まえ、利用者様・職員の生命・身体・安全確保を最優先に、気象庁等の最新の情報に注意を払いながら、天候の変化やそれに伴う災害発生の予測に関し、様々な見通しを立てて対応しています。

また、事業所独自の災害対策マニュアルを策定し、法人全体で災害発生時の指示系統等について都度確認しています。



2 消防の立場から

仙北地区活動センター 袋綿 弘道さん



消防職員と消防団員がチームで被害状況の確認を行う中、浸水が始まった家を発見。地域のことをよく知る消防団員の情報で、その家には体が不自由な高齢者が住んでいることが分かり、胸まで浸水しながら捜索し、階段でうずくまる高齢者を無事救助しました。

地元のことを知る消防団員のひとことが人命救助につながり、一人の被害も出さない結果となりました。

災害の備えとして、命を守ることが第一。段階や兆候がある洪水時は情報に聞き耳を立て、やるべきことの確認をすること。情報と行動が連動することが大切。

高齢者や体が不自由な人は町内会や隣近所の共助が必要。地域関係が希薄な中ではあるが、自分たちの地域を知る、先人の話に耳を傾ける等、町内会単位で防災について話し合うことが大事だと思います。

今だからみんなで考える防災～平成25年8月豪雨を振り返る～

平成25年8月9日、東北地方に暖かく湿った空気が流れ込み大気の状態が非常に不安定となり、雫石町で最大1時間降水量78.0ミリ、日降水量264.0ミリとなる大雨を観測しました。

この影響で、盛岡市、雫石町、矢巾町、紫波町、花巻市などで住家の床上・床下浸水、

がけ崩れなどの土砂災害、道路の損壊や冠水による交通障害などの被害が発生しました。

今回は、豪雨発生時実際に対応を行った介護サービス事業所や消防署の職員の方々にお話をうかがい、当時の状況を振り返るとともに、今後起こり得る災害への対策を再確認していきます。



3 福祉避難所として

特別養護老人ホーム 千年苑 苑長 山崎 聡さん

平成25年豪雨の際は高齢者等避難情報(警戒レベル3)の発令もあり、福祉避難所として避難受け入れを行いました。それ以降も大雨発生時における受け入れや医療的ケア児の受け入れシミュレーション訓練等も行っています。

千年苑はハザードマップでは直接被害を受ける可能性は低い場所なので、災害の際など地域の力になるべく、設備等の想定・準備を行いたいと力を入れています。

ただ、受入れ態勢としては医療機器や非常電源確保の難しさなど課題も多くあります。いざという時の事、地区の皆さん、行政、企業の方たちと一緒に考えていきたいですね。

福祉避難所とは、盛岡市の災害対策本部によって災害発生時に開設される二次的避難施設です。高齢者や障がいのある方などを対象としています。



まとめ

「天災は忘れた頃にやってくる」という戒めがありますが、最近各地で水害、地震、台風などが発生しています。

避難場所の費用確認や非常用持ち出しバッグの準備(自助)、隣近所や町内会等との協力体制(共助)が、今後はより一層重要になります。今のうちからできる備えをしておきましょう! 防災に関する情報をまとめたサイトなどもご活用ください。

○岩手防災情報ポータル <https://iwate-bousai.my.salesforce-sites.com/>

